

## 学会参加報告書

提出日 2016年11月14日

|                        |  |    |            |
|------------------------|--|----|------------|
| 学籍番号                   | 16N0004  | 学系 | 教育・コーチング学系 |
| 氏名                     | 酒本 勝太  |    |            |
| 学会等名（正式名称）             | 第2回アジア太平洋コーチング科学学会 APCOCS  |    |            |
| 開催日程                   | 2016年11月11日 ~ 2016年11月13日  |    |            |
| 開催場所（国・都市名）            | 中国・上海  |    |            |
| 発表演題名                  | What makes guided discovery coaching effective: Qualitative and quantitative analysis of a soccer coach's behavior   |    |            |
| 参加報告<br>・項目別に具体的に記載する。 | <p>&lt;学会の全体の印象&gt;<br/>                 様々な領域からの研究発表が多く、自身の研究領域以外についても学ぶことができる良い学会であった。<br/>                 オーラル発表、ポスター発表ともに英語での発表ではあったが、母国語を英語としていない研究者が多い学会であったため、学生にとっては英語での発表をする良い機会の場ではないかと感じられた。</p> <p>&lt;自分の研究と関連した発表とその内容&gt;<br/>                 上述したように、様々な研究領域からの発表が多かったため、自分の研究と関連した発表はあまり行われていなかった。その中でも、キーノートセッションでは、私の専門種目であるサッカーの最先端の研究やトレーニングについての発表があり、学びのある有意義なものであった。</p> <p>&lt;自身の発表への質問・コメント&gt;<br/>                 興味深いコメントや質問を多く頂くことができた。特に違う研究領域の方からのコメントでは、調査や研究中では気付かなかった内容についてのことが多く、今研究しているコーチング学は様々な視点からの学びが必要であることを改めて考えさせられるものであった。今回の学会で得られた知識をこれからの研究に活かしていきたいと思う。</p> |    |            |

※ 補助金を受けた学生はこの学会参加報告書を提出すること。

提出期限は学会終了後2週間以内とする。

本報告書は学会参加報告書として日本体育大学総合スポーツ科学研究センターホームページ内に掲載されます。